

周南市水道事業の業務指標（PI）の算出結果

JWWA Q 100 :2016により算出

■主要背景情報

主要背景情報	番号	背景指標名（CI）	単位	計算式	令和5年度
水道事業体のプロフィール	CI1	給水人口規模	（人）	現在給水人口	125,060
	CI2	全職員数	（人）	全職員数	58
システムのプロフィール	CI3	水源種別	—	—	ダム直接
	CI4	浄水受水率	（％）	$(\text{浄水受水量} / \text{年間配水量}) \times 100$	0.02
	CI5	給水人口1万人当たりの浄水場数	（箇所/10,000人）	$\text{浄水場数} / (\text{現在給水人口} / 10,000)$	0.72
	CI6	給水人口1万人当たりの施設数	（箇所/10,000人）	$(\text{浄水場数} + \text{送・配水施設}) / (\text{現在給水人口} / 10,000)$	7.92
地域条件のプロフィール	CI7	有収水量密度	$(1,000\text{m}^3/\text{ha})$	$\text{有収水量} / \text{計画給水区域面積}$	1.49
	CI8	水道メーター密度	（個/km）	$\text{水道メーター数} / \text{配水管延長}$	79.3
	CI9	単位管延長	（m/人）	$\text{導送配水管延長} / \text{現在給水人口}$	6.76

主要背景情報とは、水道事業の業務指標（PI）の解釈に必要な情報であり、「水道事業体のプロフィール」「システムのプロフィール」「地域条件のプロフィール」の3つに分類されます。業務指標の数値または業務指標を単独で評価・比較するものではなく、数値の持つ意味を背景情報と共に考察する必要があります。背景情報（CI）はそのために活用する情報です。

■業務指標（PI）の見方

	数値が高いほど良い指標
	数値が低いほど良い指標
	数値が高いほど良いが上限がある指標
	数値が低いほど良いが下限がある指標
—	数値の大小で判断できないまたは他の指標と併せて総合評価する指標

■目次

A. 安全で良質な水（運営管理、施設整備）	・・・	P. 1～3
B. 安定した水の供給（運営管理、施設整備）	・・・	P. 4～10
C. 健全な事業経営 （財務、組織・人材、お客様とのコミュニケーション）	・・・	P. 11～16